

## 令和6年度秋田県放課後児童支援員認定資格研修 研修レポート抜粋

(誤字脱字等については校正しているため、原文と異なる場合があります)

### 県央会場

#### 科目 ⑫学校・地域との連携

- ◆ 放課後児童クラブを利用する子どもたちの健全育成に向け、学校や地域、関係機関と連携することの大切さを再認識する機会となった。特に、学校や地域との情報共有や環境・人材・施設等の活用は大切であり、今後の運営に有益なものである。共に活動している職員と現状や実態を見つめ直し、連携のあり方について、検討を図っていきたい。ひいては、このことが、子ども、保護者、さらには私たちのウェルビーイングの向上につながると思う。
- ◆ 様々な人々や関係機関等、子ども一人ひとりについての情報提供や情報共有できる人たちと力を合わせてチームとして子どもたちを育んでいくことの大切さを改めて学び、まだまだ連携の方法はあるのだなと感じた。学校との連携では、日常的に必要なことを連絡し合うだけでなく、定期的に機会を持つことの必要性を感じた。地域コーディネーター等の存在を知ることができたので、子どもたちを支える心強さを感じるし、活用したい。
- ◆ 学校との連携について、グループで話し合ったところ、どこも学校との連携に苦慮していることが分かった。子どもの障害について、学校や担任からは個人情報にあたるという理由で教えてもらえず、保護者に聞いてくださいと言われる。年間計画や下校時刻についても、学校からは教えてもらえず、子どもに聞いたり、子どもに配られたプリントを見せてもらうしかない。
- ◆ 今回の科目を学び、学校、地域との連携の重要性を学びました。しかし、他の放課後児童クラブの方々と話し合いをした際に、学校との連携を取ることが難しいという声が多数でした。今回初めて地域と学校を繋ぐコーディネーターの存在を知りました。学校と直接連携をとるために活用できると思うので、今回知ることができて良かったです。
- ◆ 学校や地域との情報交換や情報共有を日常的・定期的に行う際は、学校や地域、保護者にとって、必要な情報か、機密情報かの見極めが大切だと思いました。子どもたちが安心して生活し、遊べる環境づくりをするのはもちろん、事故・ケガ・災害等から子どもを守るために地域住民と連携・協力して安全を確保する取組も必要だと思いました。日頃から万が一に備えて、災害訓練を行うなど、迅速に対応できるようにしていきたいです。